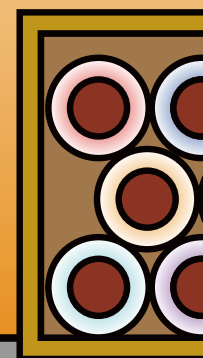
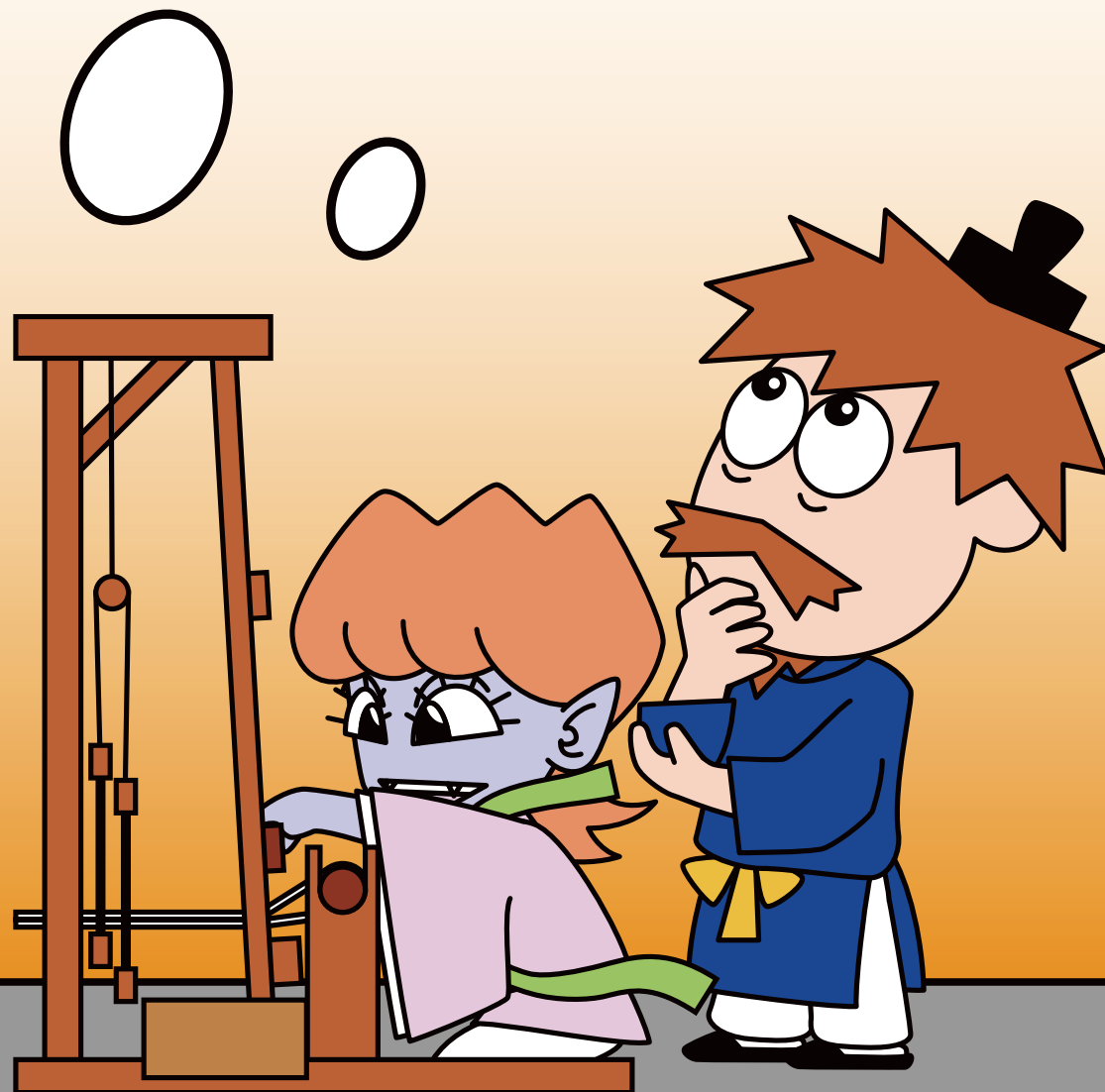
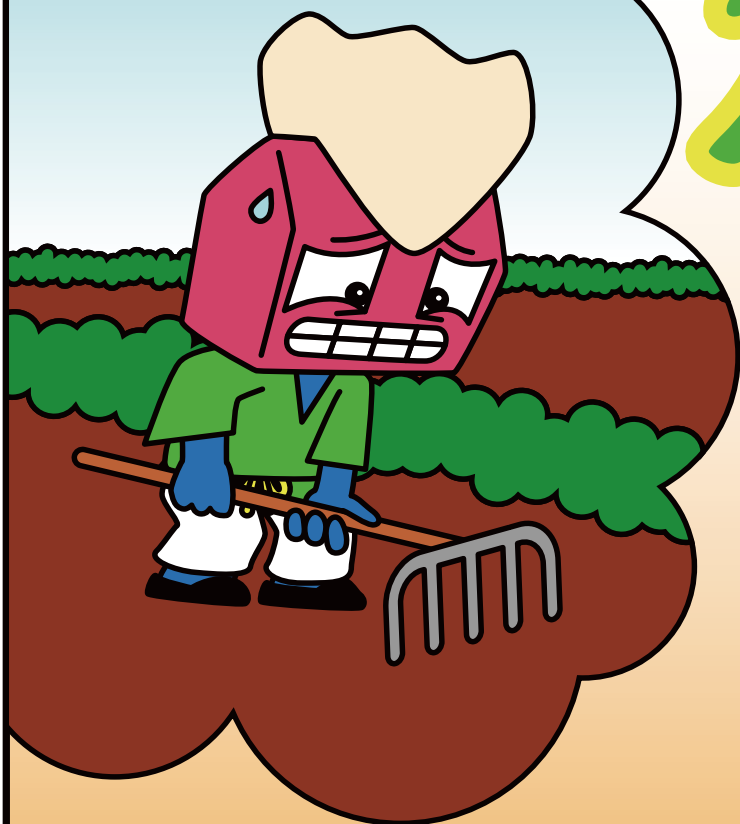


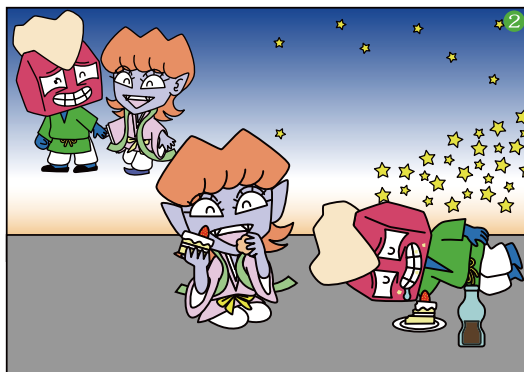
たなばた

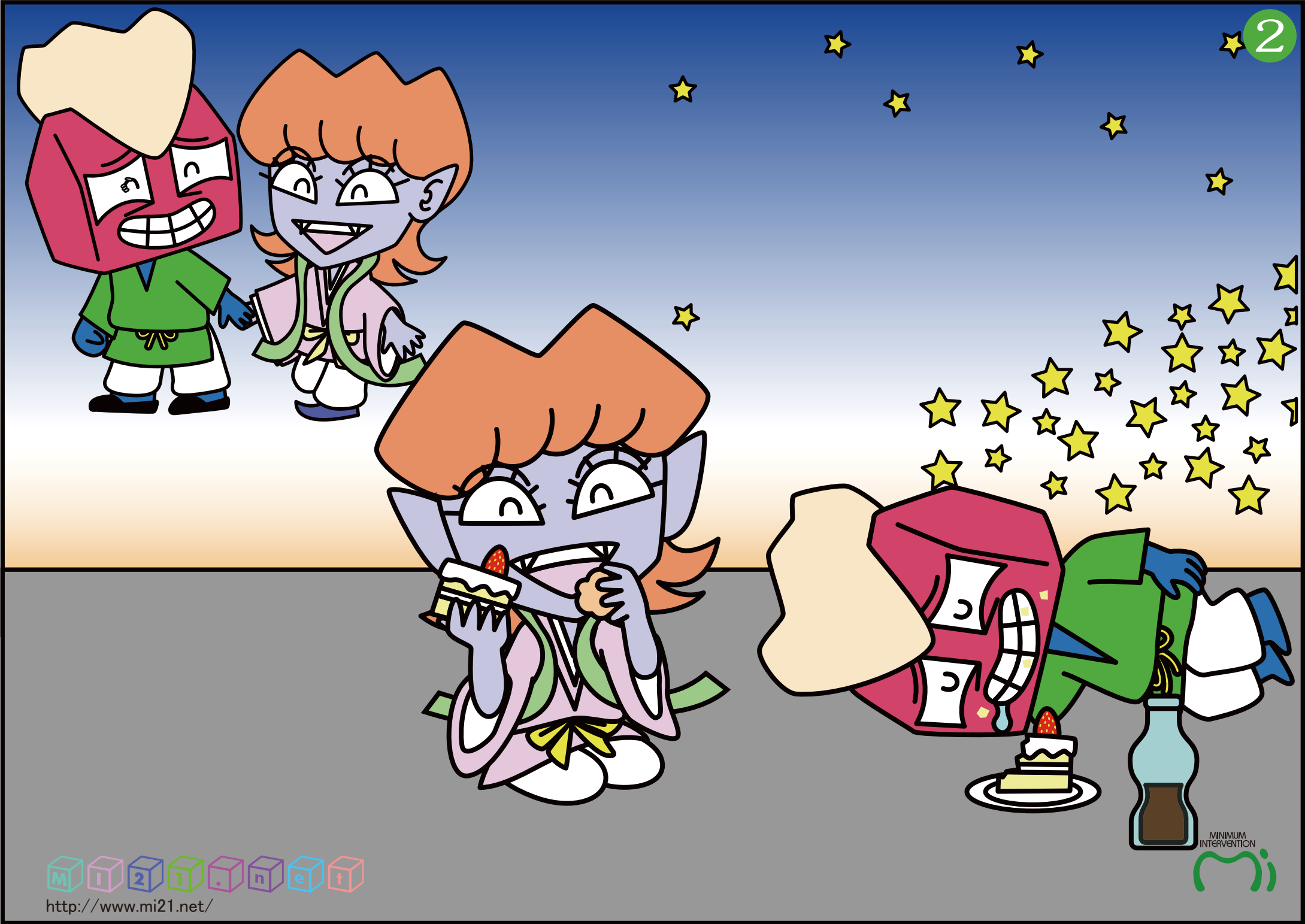


ふたりはすぐに
なかよくなりました。
しごとをわすれて
あそんばかりです。

いつものおやつも
ふたりでたべると
とてもおいしくて
いくらでも

たべられます。
たべてのんで
あそんでねる
のくいかえしです。



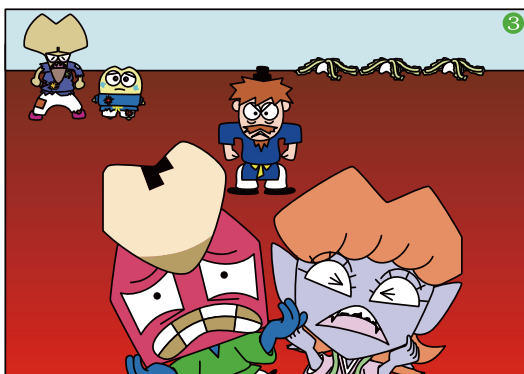


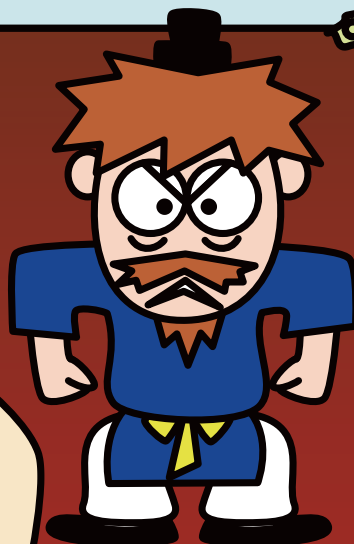
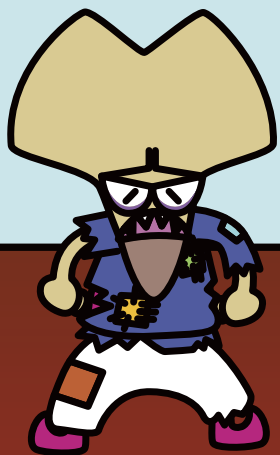
しばらくするとふたりが
はたらかなくなったので
ひこぼしのはたけの
やさいたちは
かれてしまいそうになり、
おりひめのおったきじも
てにはいられなくなり、
ひとびとはとても
こまっていました。

そしてついに…

「あいたたたた！」

ふたりはむしばに
なってしまうました。
かみさまもこれには
だまっていられません。





「しごとも はみがきもしないで

あそんでばかりいるから

むしばになるんだ。

ふたりでいると あそんでしまうなら

もう いっしょにくらすことはゆるさん。」

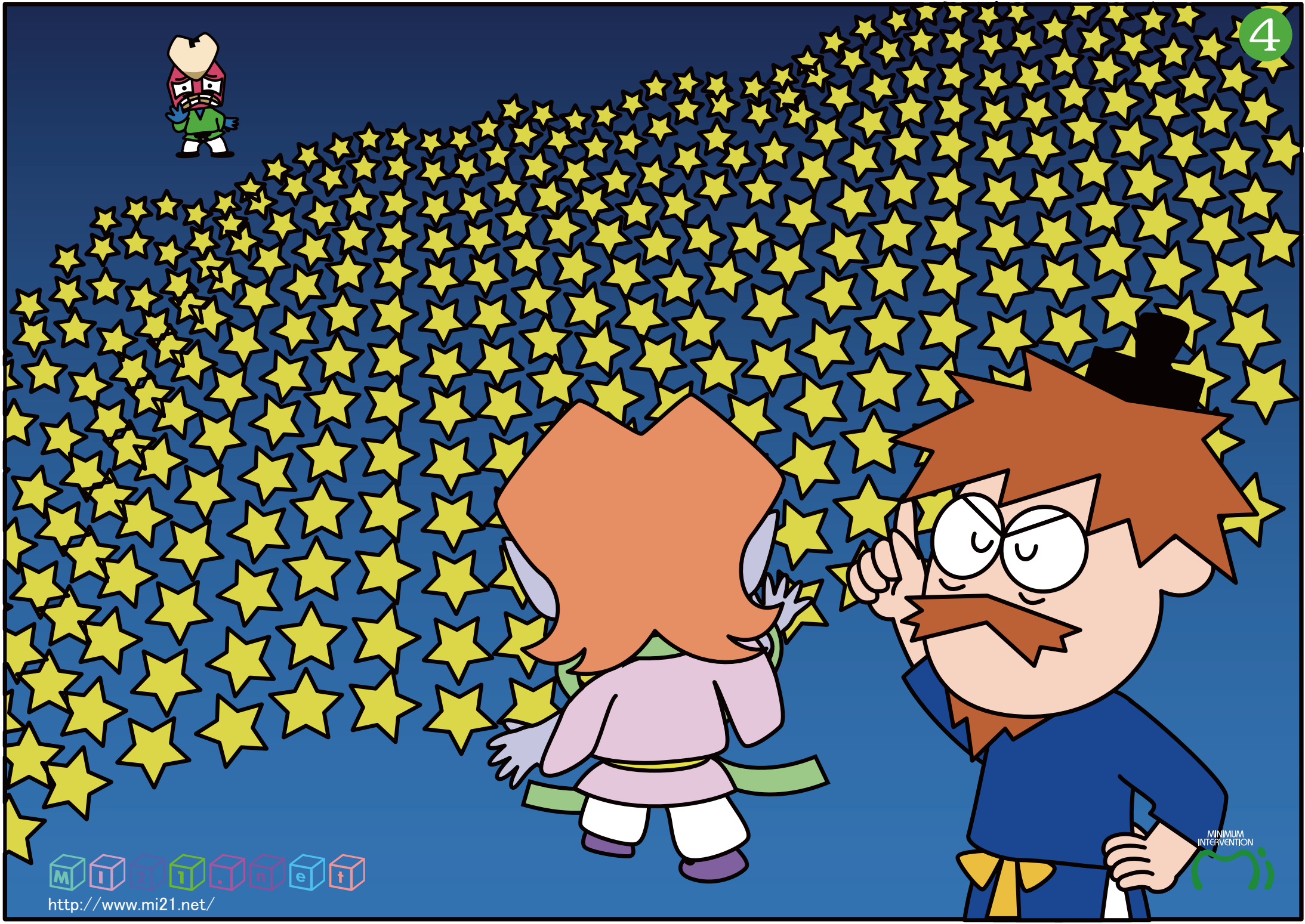
かみさまは そういって

ふた리를 あまのがわの

にしと ひがしに

ひきはなして しまいました。





それからというもの
ふたりは ないてばかりいました。
しごと も てに つきません。
かわいそうになった
かみさまは とういいました。

「そんなに

あいたいなら まず

そのむしばを なおして、

むかしの ような

きそく ほしい

せいかつを

おくりなさい。

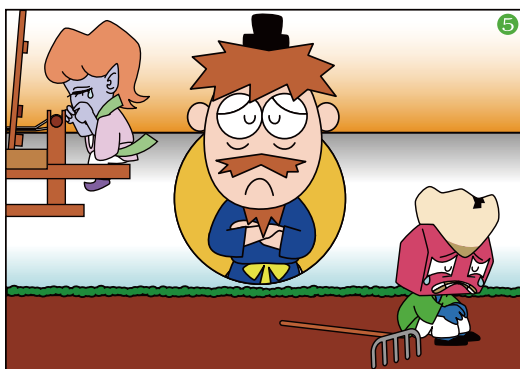
そしてこれから

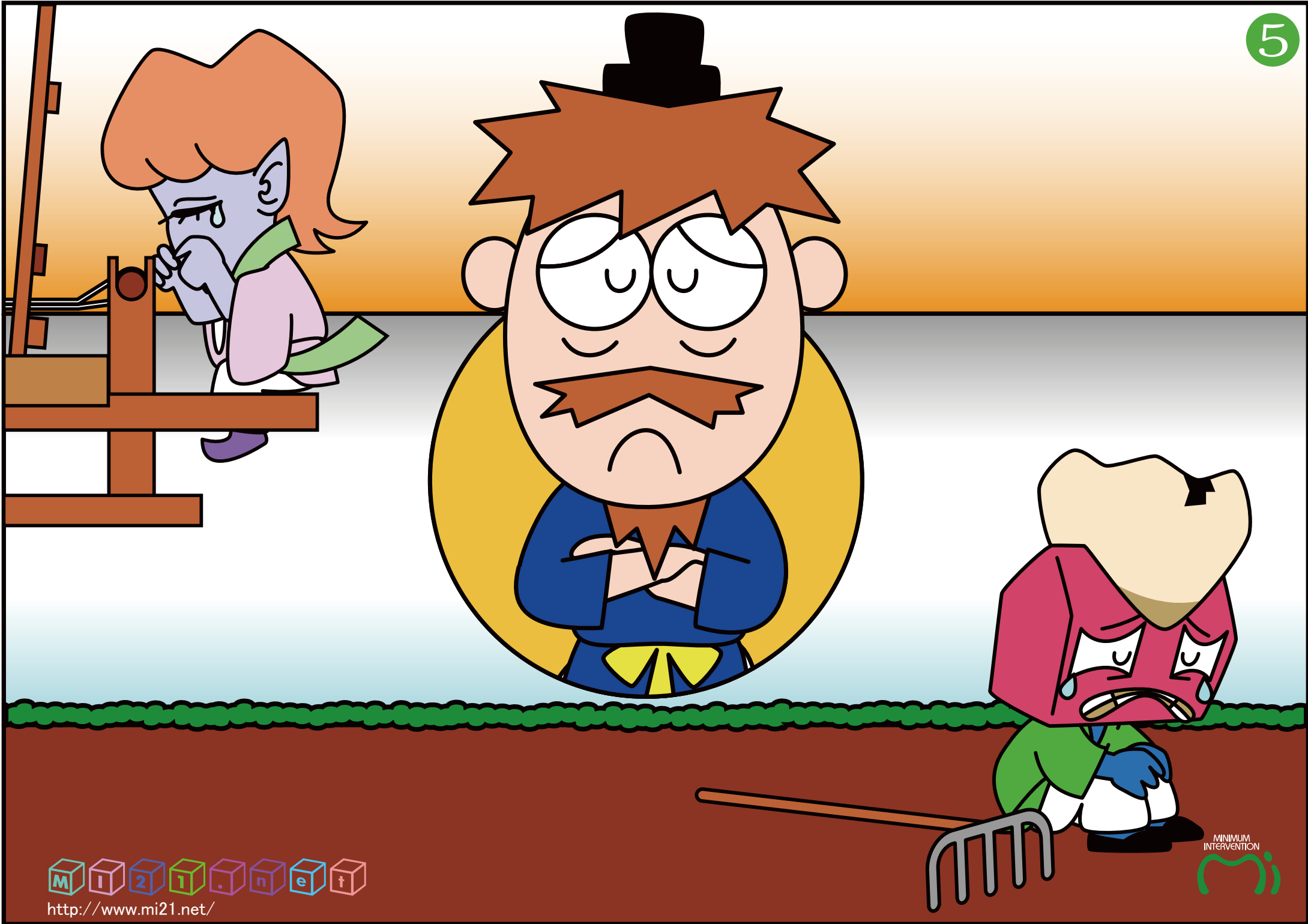
いちねんかん

むしばを ひとつも

つくらなければ

あわせて あげよう」





おりひめと

ひこぼしは

それからまいにち

きそくただしい

せいかつをおくり

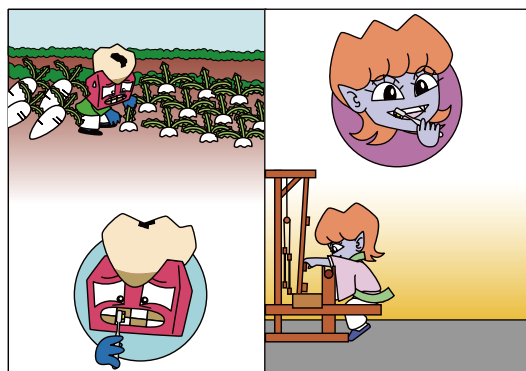
はみがきはもちろん

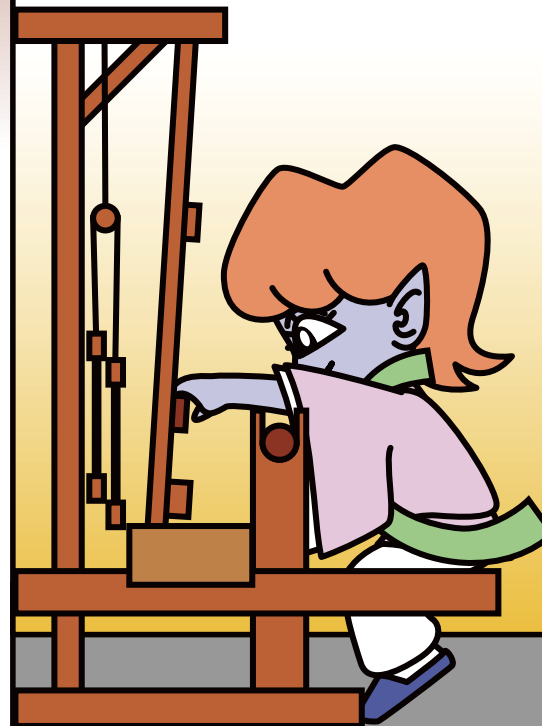
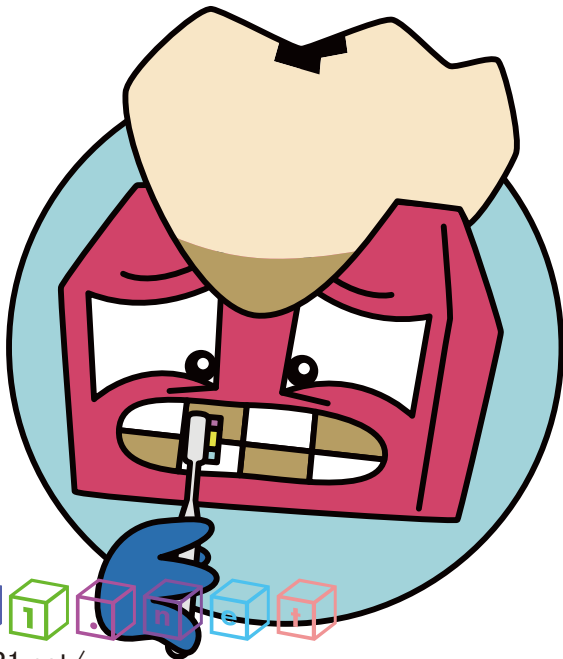
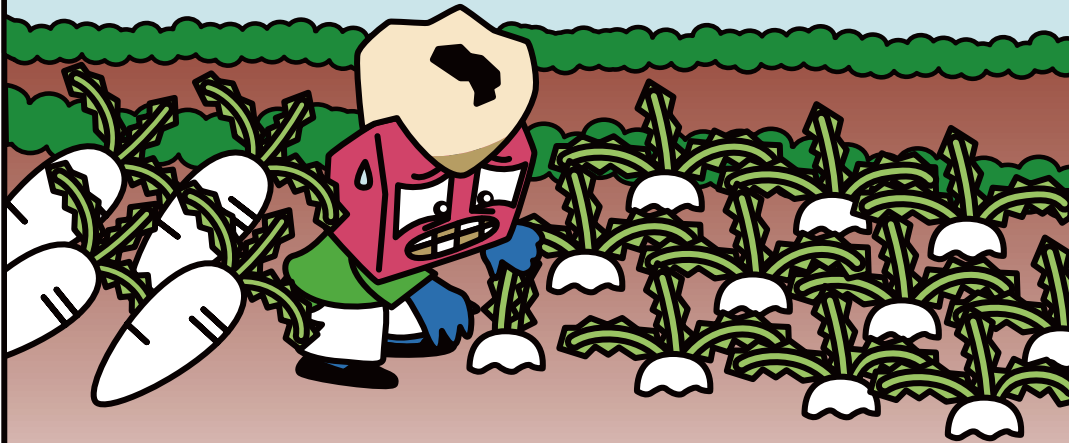
しごととも

いままで

いじょうに

がんばりました。





7

そして

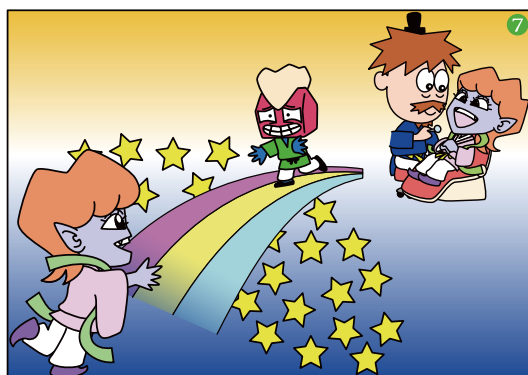
むしばをつくらなかった

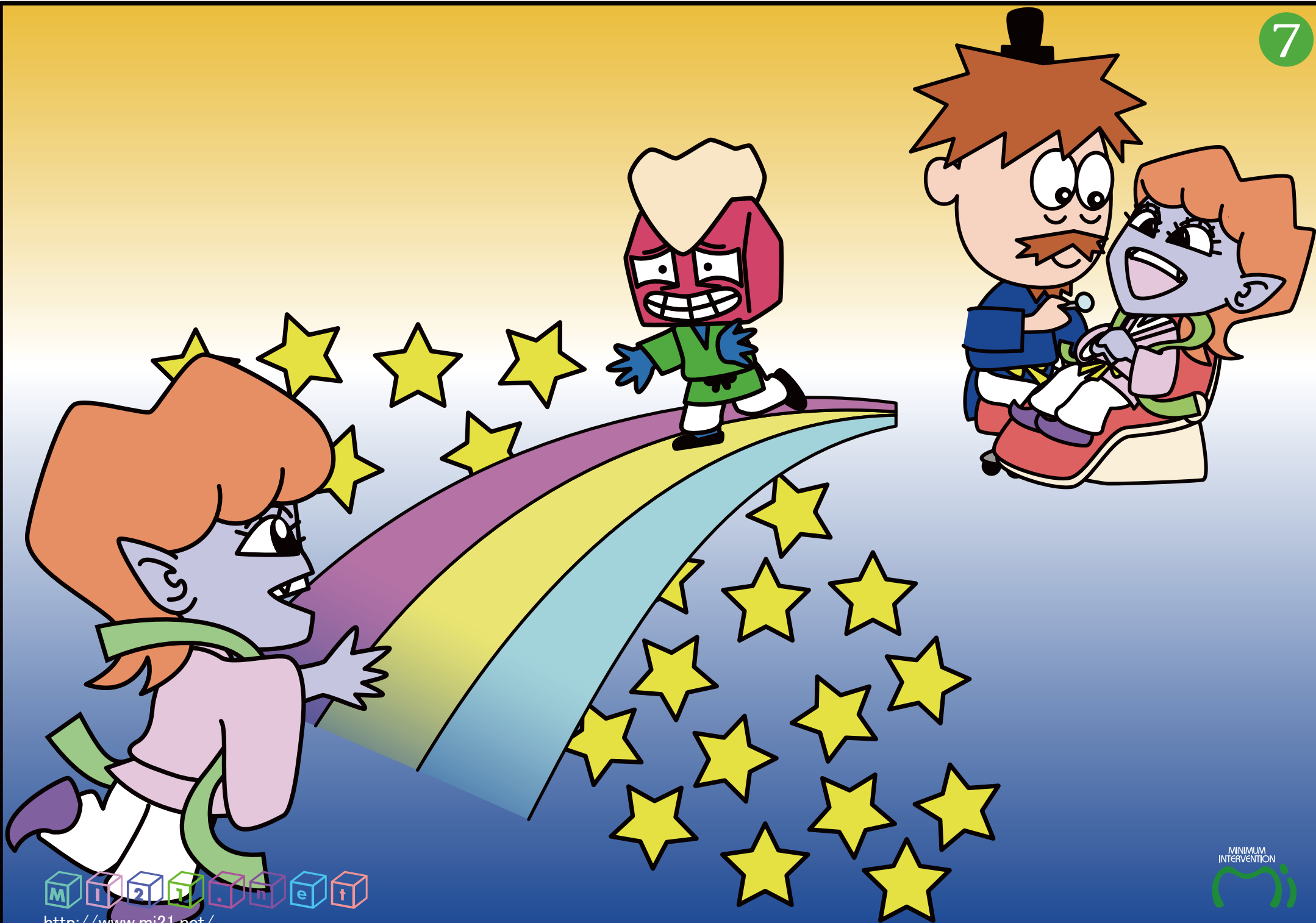
ふたいは

かみさまのゆるしをえて

7がつ7かのよるは

とてもしあわせにすごしました。





8

ごはんや

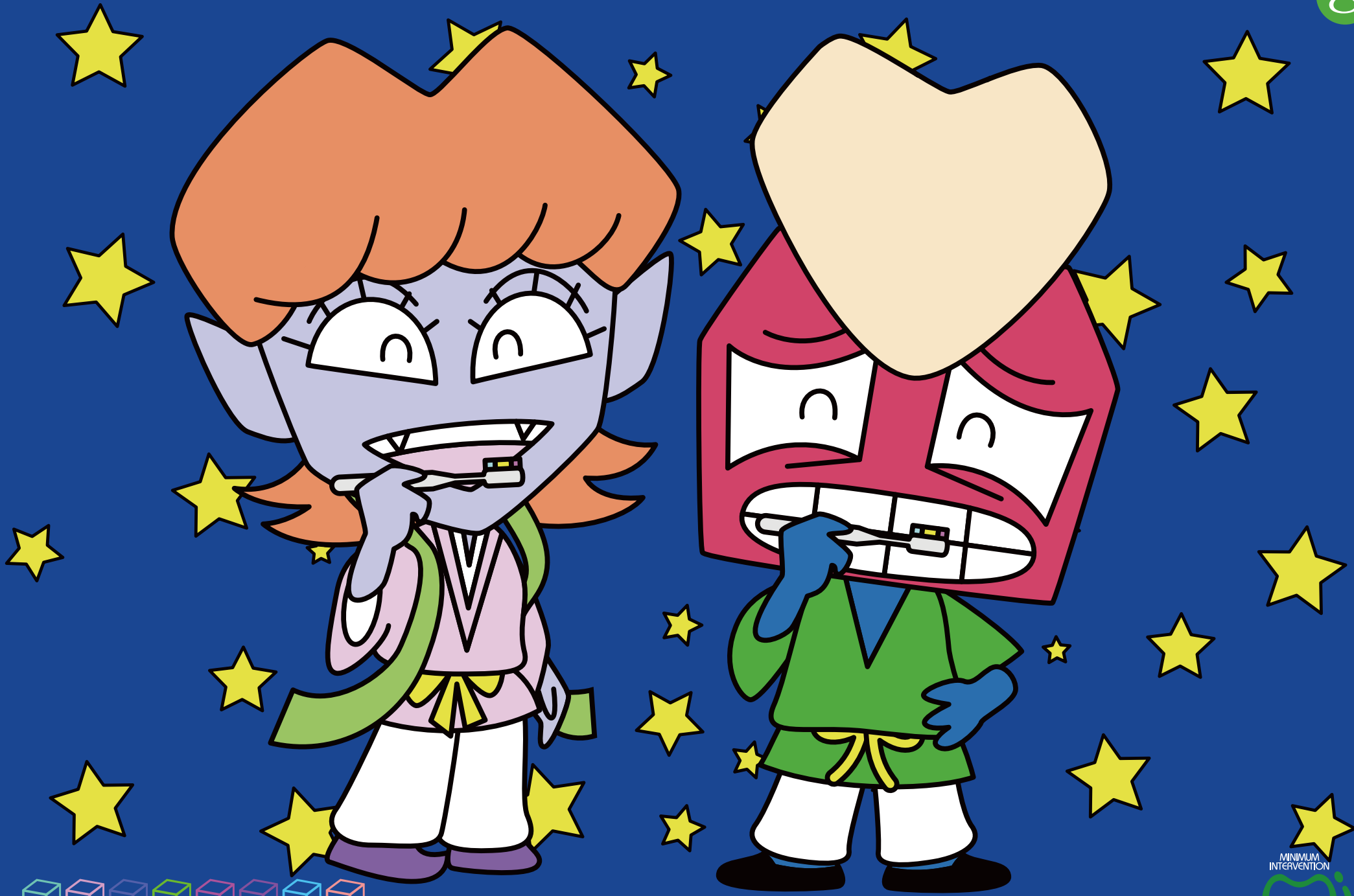
おやつを

たべたら

はを

みがこうね！





てんにおりひめという
はたおりじょうずな
むすめがいました。

あるとき かみさまは
としごろになった

おりひめに

はたらきもので

ひょうばんの

ひこぼしをおむこさんに

むかえることにしました。

